

技術講習会のご案内

『圧入工法設計・施工指針』技術講習会 新潟会場

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

圧入工法は、振動や騒音を最小限に抑え、既存施設に隣接して既製杭や矢板の施工が可能で、用地の制約、社会環境の保全、工程の順守などの問題が解決できる工法です。

今般、設計および施工の実務的観点から、技術普及を促進させることを目的として、国際圧入学会が中心となって「圧入工法設計・施工指針」を策定しました。

全国圧入協会は、国際圧入学会と共同で建設コンサルタント協会認定のCPDプログラム『圧入工法設計・施工指針』技術講習会 新潟会場を開講します。

高度経済成長期から整備されてきた多くの社会基盤施設が老朽化し、その機能を維持するため緊急な補修が求められています。一方、近年では大規模地震、局地的な集中豪雨による洪水など、従来の想定を超えた自然災害による被害が頻繁に発生しています。国民の生活や経済基盤を支えるためには、防災・減災対策と並行して、老朽化した既存社会資本に対する粘り強い構造への対応が火急の課題となっています。これは世界共通の課題です。

都市部での既存施設の再整備や補強は、振動や騒音の低減、敷地の確保難、頭部空間の制約、地中障害物、既存の道路交通や鉄道の運行の妨げにならないよう様々な問題への対処が必要となり、工事コストの上昇や工事期間の長期化を余儀なくされています。このような克服すべき課題に対して、粘り強い構造物である連続した根入れ地中壁の構築は、有力な解決策となります。圧入工法は、社会基盤の整備、補強において国内はもとより国際的にも大きな貢献が期待されます。

敬 具

記

- ◇主催団体 : 全国圧入協会、国際圧入学会
- ◇後援団体 : 公益社団法人 地盤工学会北陸支部
- ◇講習会名 : 『圧入工法設計・施工指針』技術講習会 新潟会場
- ◇開催日時 : 平成27年7月23日(木) CPD番号:201505260015 (CPD 2.5単位)
受付開始 13:15～ 講習時間 13:40～16:10
- ◇受講料 : ¥5,000 ※入金後の受講料は返金いたしません。
- ◇配布資料 : 『圧入工法設計・施工指針』を配布します。
- ◇開催場所 : クロスパルにいがた 4階 402 講座室(別紙の案内図をご参照ください)
- ◇申込方法 : 当協会Webサイトの圧入技術講習会からお申込みください。
- ◇申込期限 : 平成27年7月17日(金) 定員(40名)になり次第締め切ります。
- ◇問合せ先 : 全国圧入協会 事務局 西村・小田
Tel. 03-5781-9155 (平日9時～17時、土日・祝祭日除く)
Email jpa@atsunyu.gr.jp Website www.atsunyu.gr.jp

圧入工法設計・施工指針

圧入工法設計・施工指針

- 2015年版 -

国際圧入学会

International Press-in Association

【出版物データ】

編集：圧入工法設計・施工指針策定委員会

編集委員：委員長 日下部 治 / IPA 副会長
東京工業大学 名誉教授
茨城工業高等専門学校 校長副委員長 菊池 喜昭 / IPA 理事
東京理科大学 教授委員 松本 樹典 / IPA 理事
金沢大学 教授内村 太郎 / IPA 理事
東京大学 准教授

他 12 名

幹 事 14 名

事務局 3 名 計 33 名

発行：国際圧入学会 (IPA)

発行年月：2015 年 6 月

判型：A4 判 上製本

頁数：指針、参考資料・515 ページ

【目次】

第1章 総説

- 1-1 適用範囲
- 1-2 指針の構成
- 1-3 圧入工法
- 1-4 サイレントパイラーによる
圧入工法の適用例
- 1-5 関連する基準、指針等

第2章 計画・調査

- 2-1 計画
- 2-2 調査

第3章 設計指針

- 3-1 設計の一般的事項
- 3-2 自立式の土留め構造物の設計
- 3-3 構造細目

第4章 施工指針

- 4-1 施工概要
- 4-2 施工計画
- 4-3 施工
- 4-4 施工管理

参考資料Ⅰ (研究に関する事項)

- Ⅰ-1 圧入工法の特徴に関する研究

参考資料Ⅱ (設計に関する事項)

- Ⅱ-1 自立式の土留め擁壁の設計計算例
- Ⅱ-2 その他の適用事例

参考資料Ⅲ (施工に関する事項)

- Ⅲ-1 日本における施工事例
- Ⅲ-2 海外における施工事例
- Ⅲ-3 NETIS 登録技術
- Ⅲ-4 サイレントパイラー一覽表
- Ⅲ-5 クランプクレーン一覽表
- Ⅲ-6 反力架台の設置方法
- Ⅲ-7 好条件化機器
- Ⅲ-8 止水が必要な場合の継手部材の
施工事例
- Ⅲ-9 堤防被災箇所の圧入工法による
復旧対策技術例
- Ⅲ-10 建設の五大原則

技術講習会 プログラム

1. 「圧入工法設計・施工指針」発刊にあたって

2. 「圧入工法設計・施工指針」解説

第1章 総説

第2章 計画・調査

第3章 設計指針

第4章 施工指針

参考資料

3. 質疑・応答

13 : 40 ~ 16 : 10 (150分)

〔会場案内図〕



クロスパルにいがた



周辺駐車場 1～8

◇開催会場 : クロスパルにいがた 4階 402 講座室

〒951-8055 新潟市中央区礎町通 3ノ町 2086 TEL 025-224-2088

- アクセスは、JR新潟駅より徒歩約 20 分
- バスは、古町方面行き、「礎町」または「本町」下車、徒歩 3～5 分
- 有料駐車場は、27 台分 (150 円/30 分) しかありません。
混雑時は周辺の有料駐車場をご利用ください。

◇ご用意頂くもの: 筆記用具をお持ちください。

以 上